

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券の評価は、償却原価法(定額法)により行っている。

#### (2) 引当金の計上基準

##### 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込処理によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	89,047	0	29,984	59,063
投資有価証券	499,910,953	29,984	0	499,940,937
小 計	500,000,000	29,984	29,984	500,000,000
特定資産				
公演積立資産				
普通預金	20,000,000	0	0	20,000,000
定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
投資有価証券	0	0	0	0
小 計	50,000,000	0	0	50,000,000
合 計	550,000,000	29,984	29,984	550,000,000

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
普通預金	59,063	(59,063)	(0)	—
投資有価証券	499,940,937	(499,940,937)	(0)	—
小 計	500,000,000	(500,000,000)	(0)	—
特定資産				
公演積立資産				
普通預金	20,000,000	(0)	(20,000,000)	(0)
定期預金	30,000,000	(0)	(30,000,000)	(0)
投資有価証券	0	(0)	(0)	(0)
小 計	50,000,000	(0)	(50,000,000)	(0)
合 計	550,000,000	(500,000,000)	(50,000,000)	(0)

### 4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評 価 損 益
国 債			
第117回利付国債(5年)	499,940,937	504,600,000	4,659,063
合 計	499,940,937	504,600,000	4,659,063

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 小平市補助金 文化振興財団管理運営費補助	小平市	0	1,445,000	1,445,000	0	—
合 計		0	1,445,000	1,445,000	0	

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額 基本財産受取利息	1,030,066
合 計	1,030,066

7 退職給付関係

採用している退職給付制度の概要

財団固有の職員については、確定拠出型の制度として中小企業退職金共済制度を設けている。

8 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	5,909,116	6,214,894	5,909,116	0	6,214,894